



第141回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第180回 I I D E S 糖尿病研究会
第115回CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—



日 時 : 2019年10月26日(土) 14:00~17:15
場 所 : 神戸国際会館 8F 802号室
神戸市中央区御幸通 8-1-6 TEL: 078-230-3196

プログラム :

14:00~14:15 アボット ジャパン株式会社 —情報提供—

14:15~15:45 (座長: 鹿住 敏 甲南加古川病院 糖尿病外来、武庫川女子大学 栄養科学研究所
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

講演1. 『食生活の行動変容を目指すリブレレポート活用とは』
とくだ内科クリニック 管理栄養士 國枝 加誉 先生

講演2. 『やる気と行動につなげる関わり
~Flash Glucose Monitoring を活用した療養指導~』
社会医療法人愛仁会 明石医療センター 看護部
糖尿病看護認定看護師 津崎 好美 先生

15:45~17:15 (座長: 芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

講演3. 『日常診療における Flash Glucose Monitoring の
活用法について ~AGP の活用法、注意点~』
加古川中央市民病院 糖尿病・代謝内科 医長 播 悠介 先生

- (1) 参加費 : 2,000 円
(2) 申込方法 : 事務局へご氏名、ご所属、職種を明記の上 FAX または E-mail にてお願い致します。
(3) 連絡事務局 : 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所 (NPO - IIDES)
〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 7-10-16
TEL: 078-591-7515 FAX: 078-591-7512
E-mail: yoshino@npo-ides.or.jp

- ※ 日医生涯教育講座認定 講演1: CC10・0.5 単位、講演2: CC5・0.5 単位、講演3: CC76・1.5 単位 申請中
- ※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第2群〉1 単位 申請中
- ※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための栄養関係研修講座〈第1群〉: 1 単位 申請中
- ※ 日病薬薬学認定制度 2 単位 申請中
- ※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2 単位
- CDEJ および CDEL の認定証が必要な方は、当日必ず受付にてお申し出下さい。
- CDEJ 認定証が必要な方は、CDEJ 認定番号をご準備して下さい。
- 日医生涯教育認定証が必要な方は、医籍登録番号をご準備して下さい。

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会
アボット ジャパン株式会社

一 抄 録 一

講演1. 『食生活の行動変容を目指すリブレレポート活用とは』 國枝 加誉 先生 とくだ内科クリニック 管理栄養士

食事療法では患者さん個々の価値観を尊重し、血糖変動だけでなく心身機能の活性化や人とのつながりに配慮したアドバイスが必要となります。リブレのレポートはAGP（アンビュラトリーグルコースプロフィール）を始め、患者さんの生活に密接に関わる情報が多数集約されており、コメディカルによる面談時にも活用できます。今回は食事療法を軸としながら、1型・2型DM患者さんの行動変容を目指しての面談時における分析ポイント、面談時の具体的な工夫についてご紹介します。

講演2. 『やる気と行動につなげる関わり ～Flash Glucose Monitoring を活用した療養指導～』 津崎 好美 先生 社会医療法人愛仁会 明石医療センター 看護部 糖尿病看護認定看護師

糖尿病と共に生活する患者様にとってセルフマネジメント能力を身につけることは大切です。また、それを支える医療者は、様々な問題を患者自身で解決できるよう援助していく必要があります。療養指導では、FGM を活用し患者と共に振り返りを行うことで、患者様自身で血糖上昇の要因を自己分析できるようになります。また、自身で解決策を見出すことにもつながります。今回は、FGM を活用した療養指導を通して、やる気と行動につながった関わりを振り返りたいと思います。

講演3. 『日常診療におけるFlash Glucose Monitoring の活用法について ～AGP の活用法、注意点～』 播 悠介 先生 加古川中央市民病院 糖尿病・代謝内科 医長

近年CGM、FGMなどの持続血糖モニタリングシステムの進歩により、今までの診療では捉えることの難しかった食後高血糖や夜間低血糖などが容易に認識できるようになってきた。またAGPという血糖変動パターンの解析ツールを使用することにより、患者個々の血糖変動パターンをより把握しやすくなっている。今回はFGMを日常診療でどのように活用するか、AGPを使用するメリットと注意点などを実際の症例を用いて、ディスカッション形式もまじえて紹介したい。

◇会場案内図



- ◆ 三ノ宮駅 (JR) 三宮駅 (阪急・阪神・市営地下鉄山手線) 下車徒歩10分
- ◆ 三宮花時計前駅 (市営地下鉄海岸線) 下車 徒歩5分
- 神戸国際会館 会議室802号室 (神戸国際会館1F奥の東エレベーターをご利用下さい。)